

# 02 環境に配慮し、地球に優しい事業経営に努めています。

## 環境に対する活動

環境に優しい水づくりと自然を守るため、様々な取り組みをしています。



太陽光発電パネル

### 太陽光発電

地球環境保全や技術革新への取り組み、また災害時の応急給水活動の電源確保のため、出力150キロワットの太陽光発電設備を平成10年度に、出力250キロワットの太陽光発電設備を平成22年度に柴島浄水場へ導入しました。発電した電力を浄水処理に必要な電力として利用しており、その一部は蓄電池に充電し、大規模災害時における長時間停電時に応急給水設備が利用できるようにしています。また、平成27、28年度には市内4箇所の水道センターに合計35キロワットの太陽光発電設備を導入しました。大阪市水道局における太陽光発電の年間発電量は、約49万キロワットアワー（平成28年度実績）で、一般家庭約108軒分に相当します。



発電設備

### 水力発電

未利用エネルギーの有効活用を図るため、配水池流入水圧を利用した出力253キロワットの水力発電設備を平成16年度に長居配水場へ導入しました。年間発電量は約187万キロワットアワー（平成28年度実績）で、一般家庭約405軒分に相当します。発電した電力を配水ポンプ運転用動力の一部として利用することで商用電力の消費を抑制しています。また、出力110キロワットの水力発電設備を平成25年度に泉尾配水場へ導入しました。年間発電量は約56万キロワットアワー（平成28年度実績）で、一般家庭約122軒分に相当します。泉尾配水場で発電した電力は、全量売電しています。



スラッジ棟

### 浄水発生土の有効利用

浄水過程で発生した浄水発生土を埋め戻し土等に有効利用しています。また、民間事業者と連携し、さらなる新たな取り組みを進めています。



### 柴島浄水場総合管理棟

柴島浄水場の事務所棟では、環境に配慮し、屋上緑化、クールチューブによる冷気導入、空調室外機の散水冷却などにより使用電力を抑制するとともに、周辺の道路には保水性舗装を採用するなど環境にやさしい建物となっています。



### 環境会計

事業活動において環境保全のためにどのくらいコストがかかり、どのくらいの効果が得られるかを貨幣単位や物量単位で把握・測定して公表しています。水道局の環境保全の取り組みを広くお客さまに知っていただくため、平成15年から毎年公表しています。

## 工業用水道

地下水の過剰なくみ上げにより、西大阪地域では昭和初期から激しい地盤沈下が続いていました。そこで、地下水の代替水として工業用水道の建設を進め、地盤沈下の防止計画を実施しました。工業用水道の完成とともに地下水のくみ上げが禁止となり（昭和43（1968）年12月）、地盤沈下はほぼおさまりました。現在も工業用水道は、産業活動を支える重要な役割を担っています。



地盤沈下により陥没した道路

- 配水管
- ⋯ 取水管
- 給水区域

